

ホープ・インターナショナル開発機構による
「水供給事業を通じた女性の自立支援事業」引渡式の開催

2024年1月16日、日本 NGO 連携無償資金協力「オイダ地区における住民参加型水供給事業を通じた女性の自立支援事業」の引渡式が行われました。式典にはベア・ホープ・ジャパン事務局長、ベケレ・ホープ・エチオピア事務局長、当館から堤書記官が参加しました。

本事業は、ホープ・インターナショナル開発機構を事業主体とした、貧困女性の収入向上を目指す、総額約 2.3 億円の 3 年間の事業です。これまでホープ・インターナショナル開発機構は、オイダ郡の 4 つの地区で、住民参加型で水供給設備設置し、女性グループを形成し収入創出活動のための研修を行い、女性たちが収入を得る機会を創出しました。

【写真】



女性グループ (SHG) に参加する女性たち



月経教育を受ける子どもたち



手洗い場で手を洗う子どもたち



挨拶する堤書記官